

ふかまちのまど

第三五号・二五年 九月一日
発行元 深町連合町内会
連絡先 番六三・三九二

連合町内会活動報告

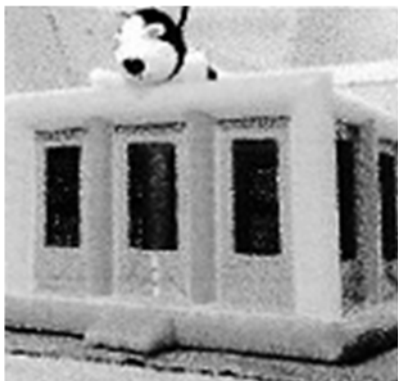
盆行事のお礼

深町連合町内会
文化部長 天木 雅之

8月15日(金)に盆行事を無事に
終える事ができました。

太鼓踊り保存会の皆様による太鼓
踊りの披露から始まり、フジベンチ
ヤーズの演奏、その後、地域の皆さ
んに盆踊りを多くの方に踊っていた
だきました。

最後にお楽しみ抽選会を盛大に行
いました。また、去年好評でしたふ
わわドームも設置し子供達の喜ぶ
声が響き楽しいひとときを過ごした
ように思います。



たくさんの方に足を運んでいただ
き有意義な盆行事となりました。

最後になりましたが、準備から当
日進行、後片付けと、町内会役員、
各種団体、電気配線等で協力頂きま
した皆様、ご苦勞様でした。

ありがとうございました。
今年度の活動も10月に町民運動会、
11月に敬老会と行事は続きます。
引き続きご支援ご協力の程、宜し
くお願い致します。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで
守りまじょう。

深小の子供は



○午後3時半頃に
下校します。

日により下校時間が
異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで
見守りまじょう。

○あいさつ
声かけをしまじょう

T B G協会だより



三原市・月例
ターゲット
バードゴルフ大会



「アドレスは8月より変更になりました」
<https://fuka.miharaweb.com>

三原市T B G月例会大会が、8月23
日(土)に15名の参加で深町・城山
コースにて行われました。

成績は、次の通りです。

1位	林 洋祐
2位	井上 幸子
3位	山内 好己
ベスグロ	69 井上 幸子
2人組戦1位	林 洋祐 河井 茂子
(同スコアのため、 1位が2組)	船本 雄三 井上 キヨコ
ホールインワン	井上 幸子

※選手の敬称略

次回の月例会大会は、9月20日
(土)に、行います。

T B G協会

事務局 山内 好己

買い物レシート投函のお礼

三原市T B G協会

会長 船本 雄三

朝晩は涼しくなり、皆様には健や
かにお過ごしのことと思います。平
素よりターゲット・バードゴルフ協
会へ、格別のご支援をいただき有難
うございます。

この度も、ニチエー中之町店にお
きまして7月末までの
3ヶ月間レシートの投函に、ご協
力いただき感謝申し上げます。
投函のご厚意は、ターゲット・バ
ードゴルフ協会の活動費として大切
に使わせていただきます。
ありがとうございました。

稲穂



蓮の花



サロン深つかふかだより

協力者一同

町内の方から材料をご提供いた
だき、「大人の塗り絵」にチャレ
ンジしました。塗り始めると集中
して無口になっていました。それ
ぞれ趣のある仕上がりでした。

7月の終わってから8月にかけて
深の盆踊りを練習しました。8月
15日の盆行事では、みんなと楽し
く踊ることができて良かったです。
盆行事開催にご尽力くださった皆
様、ありがとうございました。

9月の予定

水曜日10時～11時30分
・3日…歌、ゲーム
・10日…ハンドベル
・17日…脳トレ、ボッチャ
・24日…茶話会

★毎回最初の30分は「いきいき
体操」です。

持つてくるもの
・飲み物・室内シューズ
・長いタオル(体操に使用します)
インスタグラムで活動の様子を
発信しています。



https://www.instagram.com/fuka_machi_ochanoma/

問い合わせ先(安藤)
090-5265-3855

ユウガオ



謹んでお悔やみ申し上げます

山垣内 治子 様 九十二歳
(下組 三班) 八月十四日

深町各種団体九月行事予定

◆小学校	
▼始業式	1日
▼委員会	3日
▼SC来校	10日
▼放課後こども教室	11日
▼地域公開参観日	19日
▼宿泊体験活動(5年)	25・26日
◆如水館中学・高校	
▼教育実習開始(中・高)	
中3学力診断	1日
▼中3年前のみ授業(結団式)	2日
▼身だしなみ・授業チェック	29・30日
▼中3学習旅行	3・7日
性教育講演会	
指定校(1次)・枠制限(1次)	
申込み締切り(高)	3日
▼学力推移調査(1・2年)	6日
▼中3生徒休業日	
指定校(1次)・枠制限(1次)	
校内選考試験(高)	8日
▼進路講演会(高)	10日
▼第一回ベネッセ・駿台共通テスト模試(高)	
指定校(2次)・枠制限(2次)	
申込み締切り(高)	11・12日
▼学校推薦型申込み締切り(高)	17日
▼水明祭準備(中・高)	19日
▼水明祭	20日
▼到達度テスト(高1・2)	22日
指定校(2次)・枠制限(2次)	
校内選考試験(高)	24日
▼南部地区大会(中)	27・28日
▼身だしなみチェック	29・30日



ごみの

ポイ捨てはだめ

ごみのない

きれいなまちに



犬のフンは

飼い主が

責任を持って持ち帰りましょう！

飼い主のモラルに期待します。

高齢者相談センター
どおりいむだより



高齡相談センターどおりいむ
三原市中之町6丁目31番号
電話 61・4410

災害の備えはできていますか？

台風などの雨が多く降る時期になりました。毎年のように全国各地で災害が発生しています。
自然災害から命を守るためには日ごろの準備が大切です。

災害が起きたときに、どこに、誰と、どうやって避難するか、何を持って避難するか普段から意識しておくことが大切です。ぜひ、この機会にご家族やご近所の人と災害時のことを話しておきましょう。

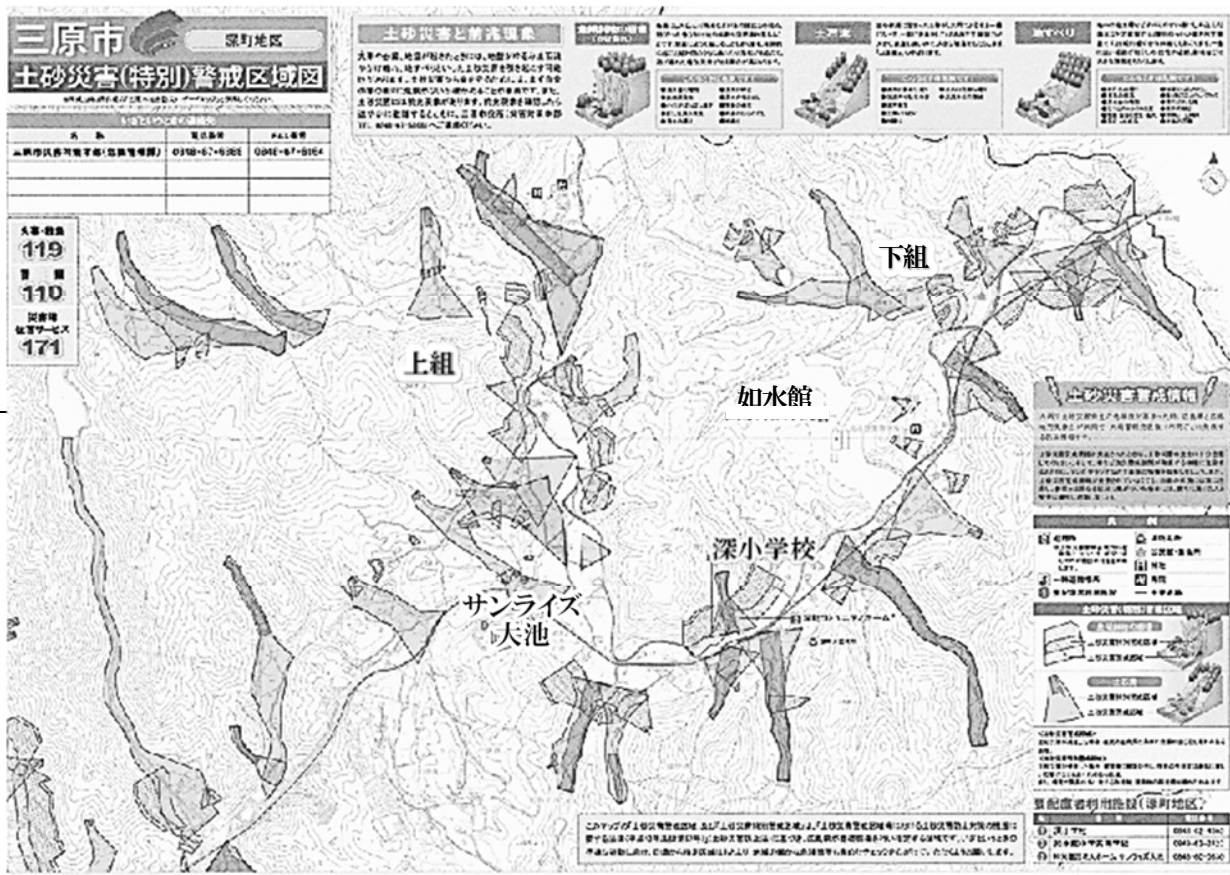
事前にハザードマップで自分の家があるか確認しておきましょう。インターネットやスマホでもハザードマップを閲覧することができます。

これだけは準備しておきたい！

- 飲料水（一日1.5〜3ℓ三日分）
- 加熱が不要な食品
- 毛布
- タオル
- 下着・靴下
- 防寒着・雨具
- ポリ袋
- 薬・お薬手帳・薬の説明書
- 歯ブラシ・コップ・洗浄液
- ウエットティッシュ
- 懐中電灯
- ラジオ
- 乾電池
- 使い捨てカイロ
- 家族写真・情報
- マスク
- 食品包装フィルム
- メガネ
- 携帯電話・充電器



深町土砂災害（特別）警戒区域図（ハザードマップ）



万一のとき、支援が必要であることを自主防災組織や近所の人に申し出て、協力を依頼しておきましょう。

家の中の安全対策

室内の安全性を高める…家具等が倒れないよう留め金を付ける。



9月の別名・旧暦名「長月（ながつき）」の意味と由来、9月の風物詩

旧暦では9月のことを「長月（ながつき）」と呼びます。
9月が「長月（ながつき）」と呼ばれるようになった由来と、9月の風物詩について調べてみました。

19月の別名「長月（ながつき）」の由来と意味

夏の暑さも落ち着き、少しずつ夜が長くなってくる9月。「秋の夜長」ともよく言いますね。

「長月」という呼び名は、その長くなっていく夜を指して「夜長月」と呼んだのが由来とされています。ただ、旧暦の季節の感覚はひと月ほどはやいですから、実際には現在の10月頃の気候を差していると思われる。長くなっていく夜に季節を感じるの、昔の人も同じだったんですね。

また、この時期は秋雨で雨が多いこともあり、「長雨月」とも呼ばれています。この「長雨月」が変化して「長月」になったという説もありま

9月の別名には他にも、稲刈月（いなかりつき）、穂熟月（ほながつき）と言ったように稲が実ることをさした呼び名もあり、これが変化して「長月」になったとも言われていますが、確かではありません。

一番有力なのは「夜長月」が変化したという説のようです。

19月のその他の別名

- ・夜長月（よながつき）
- ・稲刈月（いなかりつき）
- ・穂熟月（ほながつき）
- ・稲月（いなあがりつき）
- ・菊月（きくつき）
- ・菊咲月（きくさつき）
- ・色取月（いろどりつき）
- ・紅葉月（もみじつき）
- ・季秋（きしゅう）
- ・晩秋（くれのあき・ばんしゅう）
- ・暮秋（ぼしゅう）

稲の収穫を表す呼び名のほかに、菊が咲く時期を示す呼び名、秋が深まって木の葉が色づく様子を表す呼び名などがありますね。

季秋（きしゅう）というのは、秋の末、晩秋という意味です。晩秋、暮秋も同じ意味ですね。

9月で晩秋とは早い感じがしますが、旧暦の季節感では現在の暦でいうと約ひと月早いので、実際には10月の秋の深まった頃を指します。

19月の風物詩

二百十日（にひやくとおか）・二百二十日（にひやくはつか）

二百十日・二百二十日というのを聞いたことがありますか。
立春の日から数えてちょうど二百十日（9月1日ごろ）と二百二十日（9月11日ごろ）のことを差します。今のうちに台風の前測ができませんかった昔の人々は、毎年台風が襲来しやすい二百十日と二百二十日を厄日として警戒し、作物の安全を祈願してきたのです。

この日がちかづく、今でも日本各地で作物を台風から守るための「風祭り」が行われます。

「風祭り」でよく知られているのは、奈良県竜田神社の「竜田祭」、新潟県弥彦神社、兵庫県伊和神社の「風鎮祭」などです。

白露（はくろ）

白露（はくろ）は二十四節気のひとつで、9月8日ごろにあたります。白露は秋の野に降る「しらつゆ」のことで、秋の気配の深まりを知らせてくれます。その美しさから昔から和歌に多く歌われ、百人一首の「白露に風の吹きしく秋の野はつらぬきとめぬ玉ぞ散りける」（文屋康秀）の歌は代表的なものです。

重用（ちようよう）の節句

9月9日の「重陽の節句」は五節句のひとつで、菊に長寿を祈る「菊の節句」とも呼ばれています。

偶数を「陰」、奇数を「陽」と考える陰陽五行説では、奇数の中でも最も大きな「九」を陽が極まった数字としています。このことから、「九」が重なる9月9日を「重陽」と呼ぶようになりました。

この頃はちょうど菊の花が盛りを迎えます。菊は中国では邪気を祓う不老長寿の妙薬とされました。そこで9月9日に菊の花びらをうかべた菊酒を飲み交わして、長寿や無病息災を願いました。

この風習が奈良時代に日本に伝わり、重陽の節句の由来となったと言われています。

敬老の日

9月の第三月曜日は「敬老の日」です。

「敬老の日」は、長年にわたり社会や家庭のために働いてきた年寄りを敬愛し、長寿を祝う日です。もともとは1951年に定められた「としよりの日」でしたが、1966年に「敬老の日」として国民の祝日になりました。

秋分（しゅうぶん）

秋分の日（9月23日ごろ）は、二十四節気のひとつです。

春分の日と同様に、昼夜の長さが等しく、秋分を過ぎると次第に夜のほうが長くなっていきます。この頃を境に夏の暑さも治まっていき、秋が深まりはじめます。

仏教では「秋のお彼岸」として、祖霊を供養する意味も持っています。

秋のお彼岸

秋分の日（9月23日ごろ）とその前後の3日間ずつを含んだ一週間は、「秋のお彼岸」です。

春のお彼岸と同様に、西方の極楽浄土と現世が最も近くなる頃と言われています。この日は、お墓や仏壇をきれいにし、秋の収穫を感謝するとともに先祖を供養します。お供え物として、春のお彼岸は「ぼた餅」を備えるのに対し、秋の彼岸は「おはぎ」を備えます。

春は牡丹の花が、秋は萩の花が咲くためにこう呼ばれますが、実際には同じお菓子です。

十五夜

中国では、旧暦の7月を初秋、8月を仲秋、9月を晩秋といい、古くからそれぞれの月の満月を鑑賞する習慣がありました。なかでも旧暦8月15日の満月は「仲秋の名月」と呼ばれ、この月を愛でることがもともと好まれました。その風習が日本に伝わり、農作物の収穫を祈願する意味も加わって十五夜の月見が広まりました。

月見の際に飾るススキは秋の七草のひとつで、豊穣を願う意味や魔よけの力があるとされています。